



♪♪ 行ってきちゃいました ♪♪

理事 佐藤真由美

昨年10月30日に講演に来ていただいた「あまんきみこ」氏のお宅訪問をしてきました。まずは、その経緯ですが、講演会・交流会終了後のアンケートに驚くほどたくさんの方が答えてくださいました。その数もさることながらその内容に、我々スタッフは感激し、このまま、集計しただけではもったいないということで、報告書としてまとめることにしました。その中に「あまんきみこ」氏からの「ひとこと」をいただければ、読んでくださる方々にさらに「あまんきみこ」氏の心をお伝えできるのではないかと思います。京都への突撃を試みようとなりました。厚かましいかな～とは思いつつ、電話で「お近くまで伺ってよろしいでしょうか？」と控えめな声で、しかし、強い意志を持ってお願いしたところ「あら～そうなの。貴女、よろしければ、うちまでいらっしゃる？」「はい！えっ～！！ご自宅ですか？そんな厚かましいことは・・・でも、はい！」と支離滅裂な言葉を発し、厚かましい私は厚かましくもご自宅までお邪魔してきました。そして、とても素敵なメッセージをいただけてまいりました。（3月末に発行予定の「協育」事例集＝（第3巻）に、ご自宅での写真と合わせて記載します。）また、大分県「協育」アドバイザーネット「ゆい（結い）」人と本を結ぶ読書支援プロジェクトの交流会等で、「あまんきみこ」氏の素敵な素顔をお届けしたいと思っています。併せてお楽しみに！

余談ですが・・・「京都は寒いよ～あったかくしていらっしゃい～」というご忠告通り厚着をしていた私は、緊張と異常気象のおかげで汗びっしょりでした(ー_ー)

お知らせ

《京都別府『協育』プロジェクト事業 第2回コーディネーター養成研修会》

*文部科学省委託事業《学校と地域の新たな協働体制の構築のための実証研究(学校・家庭・地域の連携協力推進事業)》

日 時 平成26年2月26日(水)9:20～16:00(受付開始9:00～)

会 場 大分県社会教育総合センター2F 多目的ホール(別府市野口原3030-1・大分県ニューライフプラザ内)

申し込み 平成26年2月20日(木)締切/申し込み方法等の詳細は、同封のチラシをご参照ください。

主 催 京都別府『協育』プロジェクト〈委員長 寺岡悌二(別府市教育長)〉

《「協育」見本市 第7回地域発『活力・発展・安心』デザイン実践交流会》

*共催事業：NPO法人幼老共生まちづくり支援協会移動フォーラム

日 時 平成26年3月1日(土)10:30開会行事～3月2日(日)12:00閉会行事

会 場 「梅園の里」(国東市安岐町富清2244)

申し込み 平成26年2月19日(水)締切/申し込み方法等の詳細は、同封のチラシをご参照ください。

主 催 東国東地域デザイン会議/大分大学高等教育開発センター/NPO法人幼老共生まちづくり支援協会

協 力 NPO法人大分県『協育』アドバイザーネット

《平成25年度大分大学高等教育開発センター「『協育』アドバイザー養成講座」【中級編】》

日 時 平成26年3月15日(土)・16日(日)

会 場 大分大学 教養教育棟2F 26号教室

申し込み 平成26年3月11日(火)締切/申し込み方法等の詳細は、同封のチラシをご参照ください。

主 催 大分大学高等教育開発センター

協 力 NPO法人大分県『協育』アドバイザーネット

《事務局からのお願い》

会費が改正されました。年度末の決算が近づいておりますので未納の方はなるべく早く納入をお願いします。

会の運営や会員の情報収集・提供、HPの運営、研修・モデル的な主催事業等を充実します。

会費 *正会員(全会員)は年間1,000円以上(「以上」)ですので、会運営のための会費納入にご協力ください。)

※郵送の場合：〒870-1192 大分市大字旦野原700番地 大分大学高等教育開発センター 中川忠宣宛

※振込の場合：ゆうちょ銀行 記号17220 番号4866821 トクヒ) オオイタケンキョウイクアドバイザーネット

◎これまで郵送しておりました会報やその他情報について、メールアドレスをお持ちの会員の皆様には、今後メールにて配信させていただくこととさせていただきます。お預かりした会費を有効に活用し、会の運営の更なる充実を図りたいと思っておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

会員さんの活動紹介

大分県「協育」アドバイザーネット 会員さんの活動紹介！今回は、3期生の上原政道さんと4期生の川野智美さんのお二方を取材させていただきました。

上原政道さん(3期生)：PTA 役員の活動を通し、お父さんたちにももっと気軽に学校に来てほしい、父親同士の関わりも持ってほしいとの思いから、平成 18 年子どもさんが小学校5年生の時に、小学校において「おやじの会」を立ち上げました。川崎小学校おやじの会は発足当初から大分市おやじネットワークに賛同、第7回全国おやじサミット大分大会にも実行委員として参加し、このネットワークも「市」が取れて大分おやじネットワークとしてスタートしています。今回は、上原さんの活動の一つである、「大分おやじネットワーク」主催の合同キャンプの様子を取材しました。



H24年8月某日の日出町糸が浜海浜公園。数組のご家族が参加されていましたが、影の主演は「おやじ」たち！竹の食器作りでは、子どもたちがのこぎりやナイフを器用に使いながら上手に作業していました。同時進行で、竹筒ごはん、カレー、ペットボトルピザなどを作る準備も進みます。今回のキャンプ開催は3回目なのですが、メンバーがこれまでの活動で得た様々なプログラムを取り入れたものでした。特に興味があったのは、「ペットボトルピザ」。ペットボトルに生地材料を投入し、振り続け、材料がきれいに混ざりまとまってきたところで、蓋を開けると「ボン」と生地が出てきます。また、この生地に好みの食材をトッピングした後は、段ボールとアルミなどで手作りした窯で炭を使って焼きます。この、プログラムは、「ネイチャーキッズ寺子屋」という団体の特許だそうです。その他、すいか割りや花火などをして、おやじならではの関わりで、1泊2日の楽しいキャンプが展開されていました。



上原さんは、学校での PTA 役員やおやじネットワークを通して、たくさんの仲間と知り合い、様々な活動を展開されています。会員のみなさまの活動で参考になることがあれば、情報提供していただけるそうです。



川野智美さん(4期生)：子どもの頃から生きものや自然の中で遊ぶことが好きで、大人になってもその思いは変わらず、また学生時代には屋久島の絶滅危惧植物ヤクタネゴヨウの現状を調べ、その保全に関わる人たちと出会い感銘を受けたそうです。このような体験から、自然のすばらしさ・かけがえのなさを伝え、環境保全に携わりたいと考えるようになり、現在「九重ふるさと自然学校」の代表を務めておられます。今回は、11月下旬開催の「地獄蒸しと九重郷土料理」というイベントを取材させていただきました。九重ふるさと自然学校では、自然とともに育まれた地域の文化にも焦点をあてており、多様な自然、多様な文化を伝え、つなげて



いきたいと、さまざまな事業に取り組まれています。今回のイベントでは、「とうきび餅」「子育て団子汁」や猪肉をつかった「ジビエ料理」、九重の地熱から湧き上がる蒸気を利用して、鶏を丸々一匹蒸した「極楽温鶏」などを作るのですが、なんと講師は地元の料理上手なお母さんたち。地元ならではの食材の説明や料理のいわれなど、経験豊かなお母さんたちがお話をされていました。決して多くないスタッフにも関わらず、スムーズに運営されていたので、お話を伺ったところ、講師をしてくださる地域の方たちの協力や、学生ボランティアさんのお手伝いもありスムーズな運営ができているとのこと。また、地獄蒸しも地元の方たちが使用している蒸し窯を使わせてもらっているというお話も聞き、日ごろから、地域の方たちと密接な関わりがあつてのことだろうと感じました。



川野さんは、このように地域の方たちとの関わりの中で活動していますが、「協育ネット」会員のみなさんの様々な活動も参考にし、時には協働で、プログラムの更なる充実ができればと、今後の展望を語ってらっしゃいました。

